

令和5年度 学校経営計画書

岡山県立笠岡工業高等学校

本校の使命、存在意義

専門的知識と技術・技能を習得させる工業高校として、地域や他校等と連携するとともに、基礎学力と社会に必要とされる技術力や、確かな勤労観、職業観を育む教育活動を通して、それぞれの専門分野で主体的に活躍し、社会の発展に貢献する人材の育成を目指す。

本校の目指す姿

生徒一人一人が大切にされ、笠工生としての誇りと自信を身に付けることのできる学校

【人材育成】

○社会人としてのマナーや確かな職業観・勤労観を持ち、意欲的で我慢強さや責任感を身に付けた人材を育成する学校

【学力向上】

○基礎的な学力と教養を身に付けるとともに、豊かな専門的知識や技術・技能を有する人材を育成する学校

【地域との連携】

○地域社会のニーズと保護者の期待に応え、地域の教育力と連携を密にして、一層開かれた学校づくりを推進する学校

【魅力的な学校づくり】

○学校創立79年目を迎え、整備された学習環境を生かし、全ての教職員が自己の資質向上、専門性の深化に努め、生徒にとって魅力的な学校づくりを推進する学校

令和5年度教育活動

現状分析

【人材育成】

- 遅刻者数が減少しない。
- 気持ちのよいあいさつがまだ十分ではない。
- 部活動の加入率が徐々に上がっているが、活動実績が少ない。

本年度の教育重点

【人材育成】

- 基本的な生活習慣の確立
- 褒めの教育の推進
- 部活動の活性化・効率化

【学力向上】

- 学習習慣が身に付いておらず、基礎力診断テストが学年を追うごとに下がる傾向にある。
- 学習意欲が十分ではない生徒もいる。
- ジュニアマイスター等の受賞者数が少ない。

【学力向上】

- 基礎学力の向上と学習習慣の定着
- 興味を持てる、わかりやすい授業の推進（ICT機器の有効な活用）
- 資格取得の推進

【地域との連携】

- 一斉あいさつ運動、出前授業、笠工テクノ工房等を通して、本校に対する理解が進んでいるが、募集定員確保に苦戦している。
- 売り手市場だが、よりよい進路保障について不断の努力が必要である。

【地域との連携】

- 学校開放や保護者・地域等との連携の推進
- 進路指導・キャリア教育の推進

【魅力的な学校づくり】

- 達成感・自己有用感の低い生徒もいる。
- 老朽化等により、教育環境が整っていないところもある。

【魅力的な学校づくり】

- ものづくり教育の推進
- 学習環境整備の推進